



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月27日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
 定時株主総会開催予定日 2020年6月16日 配当支払開始予定日 2020年6月17日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年3月21日～2020年3月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	73,745	3.6	2,497	6.0	2,165	1.0	1,180	△20.7
2019年3月期	71,186	0.3	2,355	△8.8	2,144	7.3	1,488	△10.7

(注) 包括利益 2020年3月期 650百万円(△57.7%) 2019年3月期 1,537百万円(△9.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	281.89	—	4.8	2.6	3.4
2019年3月期	419.83	—	6.3	2.6	3.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	82,815	27,939	30.1	5,946.55
2019年3月期	81,199	27,597	30.4	5,888.48

(参考) 自己資本 2020年3月期 24,892百万円 2019年3月期 24,652百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	5,756	△5,419	△1,238	2,624
2019年3月期	6,162	△2,674	△6,676	3,534

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	—	—	65.00	65.00	272	15.5	1.1
2020年3月期 (予想)	—	—	—	48.00	48.00	200	17.0	0.8
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 20円00銭

2. 2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年3月21日～2021年3月20日)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、合理的な業績予想の算出が困難なため、現時点では未定であります。今後、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	4,219,554株	2019年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2020年3月期	33,438株	2019年3月期	33,047株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	4,186,249株	2019年3月期	3,545,616株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年3月21日～2020年3月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	61,856	3.7	204	△65.5	798	△40.3	586	△10.3
2019年3月期	59,628	2.1	593	△29.1	1,337	△2.1	653	△50.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	140.08	—
2019年3月期	184.28	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	67,111	21,401	31.9	5,112.59
2019年3月期	66,705	21,998	33.0	5,254.58

(参考) 自己資本 2020年3月期 21,401百万円 2019年3月期 21,998百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境や個人所得は緩やかに回復していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により人の移動が制限されるなど、消費の落ち込みが見られました。先行きにつきましても、同感染症の長期化・深刻化による世界的な景気減速が懸念され、より一層の不透明感が広がっております。

このような状況のなか、当社グループは、当期を初年度とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』をスタートさせました。この中期経営計画では、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、最終年度である2021年度に「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームが主要ユーザー向けの出荷を大きく伸ばしたことなどにより、グループ全体の売上高は73,745百万円（前期比3.6%増）となりました。利益につきましては、売上高の増加に伴う増益効果などにより、営業利益は2,497百万円（前期比6.0%増）、受取配当金の減少などにより経常利益は2,165百万円（前期比1.0%増）となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は1,180百万円（前期比20.7%減）となりましたが、これは主に、前期に亞德利玻璃（珠海）有限公司が清算終了したことにより同社に対する出資金が課税所得計算上損金処理されたため、前連結会計年度の税金費用が減少していたためです。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、清涼飲料水やビールのリターナブルびんの出荷が大きく減少したことに加え、焼酎びんや清酒びんの需要が落ち込んだことにより出荷が伸び悩み、売上高は16,659百万円（前期比5.9%減）となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、消費増税の影響などにより一般市場向けの販売が落ち込んだほか、ビールメーカー向けの業務用品や景品の受注が落ち込みました。陶磁器は、鳴海製陶（株）及び三重ナルミ（株）の決算期変更による一時的な影響が解消したことにより売上高は増加しました。セグメント全体の売上高は13,147百万円（前期比4.9%減）となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、主要ユーザーへの拡販により受注が増加したことに加え、原材料や物流コストの上昇に対する販売価格は正もあり、売上高は7,403百万円（前期比5.1%増）となりました。

<プラスチック容器関連事業>

プラスチック容器は、PETボトル用プリフォームが堅調な需要を背景に主要ユーザーからの受注が増加したことに加え、当期から本格的に生産を開始した新ラインの稼働により出荷総量が大きく増加し、売上高は30,993百万円（前期比15.1%増）となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、鳴海製陶（株）の決算期変更による一時的な影響が解消したことにより、売上高は1,979百万円（前期比15.9%増）となりましたが、当該影響を除くと概ね前期並みです。

<その他事業>

抗菌剤は、国内及び海外市場ともに売上高が減少しました。金属キャップは医薬品向けの出荷が伸び悩んだこともあり、セグメント全体の売上高は3,561百万円（前期比10.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態につきましては、資産合計は82,815百万円（前期比1,615百万円増）、負債合計は54,875百万円（前期比1,273百万円増）、純資産合計は27,939百万円（前期比342百万円増）となりました。資産は、その他（未収金）並びに現金及び預金が減少し、有形固定資産並びに商品及び製品が増加しました。未収金の減少はプラスチック容器関連の設備投資に伴うリースバックの決済が済んだことによるものであり、有形固定資産並びに商品及び製品の増加は、ガラスびん関連の設備更新による新規設備の取得並びに在庫水準の確保によるものです。負債につきましては、有利子負債が大きく減少し、設備取得に関する長期未払金が増加しました。純資産は、株価下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少はあったものの、利益剰余金の増加により前期並みとなりました。この結果、自己資本比率は30.1%（前連結会計年度末は30.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ909百万円減少し、2,624百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、5,756百万円（前年同期は6,162百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益及び減価償却費の増加によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、たな卸資産の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、5,419百万円（前年同期は2,674百万円の資金減少）となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,238百万円（前年同期は6,676百万円の資金減少）となりました。資金増加の主な要因は、セール・アンド・リースバックによる収入及び長期借入金による収入によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出及び社債の償還による支出によるものです。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大により、合理的な業績予想の算出が困難なため、現時点では2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、未定であります。

今後、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当連結会計年度 (2020年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,538	1,528
受取手形及び売掛金	11,506	11,682
有価証券	—	1,100
商品及び製品	11,608	13,072
仕掛品	745	740
原材料及び貯蔵品	4,562	4,424
その他	3,184	1,667
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	35,141	34,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,000	27,593
減価償却累計額	△19,624	△19,410
建物及び構築物(純額)	7,376	8,183
機械装置及び運搬具	45,044	45,809
減価償却累計額	△38,291	△38,445
機械装置及び運搬具(純額)	6,753	7,364
工具、器具及び備品	7,931	7,868
減価償却累計額	△6,780	△6,659
工具、器具及び備品(純額)	1,150	1,209
土地	15,784	17,486
リース資産	7,994	9,392
減価償却累計額	△2,928	△3,501
リース資産(純額)	5,066	5,891
建設仮勘定	570	238
有形固定資産合計	36,702	40,373
無形固定資産		
ソフトウェア	130	95
その他	46	56
無形固定資産合計	176	152
投資その他の資産		
投資有価証券	7,445	6,218
繰延税金資産	1,035	1,115
その他	521	578
貸倒引当金	△29	△21
投資その他の資産合計	8,973	7,890
固定資産合計	45,852	48,416
繰延資産		
社債発行費	205	187
繰延資産合計	205	187
資産合計	81,199	82,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当連結会計年度 (2020年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,445	7,507
短期借入金	7,157	8,836
1年内償還予定の社債	739	1,075
リース債務	1,184	1,515
未払金	3,451	4,121
未払費用	2,139	2,616
未払法人税等	270	519
賞与引当金	698	696
その他	689	602
流動負債合計	23,776	27,490
固定負債		
社債	7,814	6,739
長期借入金	6,485	2,633
リース債務	4,253	4,805
長期末払金	366	2,601
繰延税金負債	1,010	1,018
再評価に係る繰延税金負債	3,395	3,399
役員退職慰労引当金	69	72
汚染負荷量引当金	491	467
退職給付に係る負債	5,866	5,564
その他	70	82
固定負債合計	29,825	27,384
負債合計	53,602	54,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	6,349	7,256
自己株式	△84	△85
株主資本合計	17,210	18,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,567	1,659
繰延ヘッジ損益	13	31
土地再評価差額金	5,338	5,340
為替換算調整勘定	1	1
退職給付に係る調整累計額	△479	△255
その他の包括利益累計額合計	7,441	6,776
非支配株主持分	2,945	3,046
純資産合計	27,597	27,939
負債純資産合計	81,199	82,815

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
売上高	71,186	73,745
売上原価	57,406	59,148
売上総利益	13,780	14,597
販売費及び一般管理費	11,424	12,100
営業利益	2,355	2,497
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	233	148
受取賃貸料	174	204
固定資産売却益	1	55
その他	108	56
営業外収益合計	522	469
営業外費用		
支払利息	345	346
社債発行費償却	35	41
賃貸収入原価	80	124
固定資産除却損	63	138
為替差損	21	45
解約損	67	—
その他	120	105
営業外費用合計	734	801
経常利益	2,144	2,165
特別利益		
関係会社整理益	214	—
受取保険金	59	460
特別利益合計	274	460
特別損失		
早期割増退職金	—	23
固定資産除却損	501	76
関係会社株式評価損	—	74
災害による損失	177	332
特別損失合計	679	507
税金等調整前当期純利益	1,738	2,118
法人税、住民税及び事業税	417	651
法人税等調整額	△295	163
法人税等合計	122	814
当期純利益	1,616	1,303
非支配株主に帰属する当期純利益	128	123
親会社株主に帰属する当期純利益	1,488	1,180

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
当期純利益	1,616	1,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	△898
繰延ヘッジ損益	179	19
土地再評価差額金	—	1
為替換算調整勘定	△149	△0
退職給付に係る調整額	58	224
その他の包括利益合計	△79	△653
包括利益	1,537	650
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,361	514
非支配株主に係る包括利益	175	135

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,911	4,149	5,018	△298	14,781
当期変動額					
新株の発行	433	433			866
剰余金の配当			△157		△157
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,488		1,488
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		17		214	232
土地再評価差額金の取 崩					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	433	451	1,331	213	2,429
当期末残高	6,344	4,600	6,349	△84	17,210

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,771	△155	5,338	151	△537	7,569	2,800	25,150
当期変動額								
新株の発行								866
剰余金の配当								△157
親会社株主に帰属する 当期純利益								1,488
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								232
土地再評価差額金の取 崩								—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△204	168	—	△149	58	△127	145	18
当期変動額合計	△204	168	—	△149	58	△127	145	2,447
当期末残高	2,567	13	5,338	1	△479	7,441	2,945	27,597

当連結会計年度(自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,344	4,600	6,349	△84	17,210
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△272		△272
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,180		1,180
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		0	0
土地再評価差額金の取崩			△1		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	906	△0	905
当期末残高	6,344	4,600	7,256	△85	18,115

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,567	13	5,338	1	△479	7,441	2,945	27,597
当期変動額								
新株の発行								—
剰余金の配当								△272
親会社株主に帰属する 当期純利益								1,180
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								0
土地再評価差額金の取崩								△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△908	18	1	△0	224	△664	101	△563
当期変動額合計	△908	18	1	△0	224	△664	101	342
当期末残高	1,659	31	5,340	1	△255	6,776	3,046	27,939

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,738	2,118
減価償却費	4,226	4,462
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	3
汚染負荷量引当金の増減額 (△は減少)	△24	△23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	△42
受取利息及び受取配当金	△238	△153
支払利息	345	346
為替差損益 (△は益)	19	29
有形及び無形固定資産除却損	565	215
関係会社清算益	△214	—
受取保険金	△59	△460
早期割増退職金	—	23
関係会社株式評価損益 (△は益)	—	74
災害損失	177	332
売上債権の増減額 (△は増加)	320	△204
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△849	△1,326
未収入金の増減額 (△は増加)	△383	214
前渡金の増減額 (△は増加)	63	△23
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,267	60
未払費用の増減額 (△は減少)	130	481
その他	△531	△262
小計	6,534	5,854
利息及び配当金の受取額	238	153
利息の支払額	△349	△360
保険金の受取額	59	460
早期割増退職金の支払額	—	△23
法人税等の支払額	△320	△327
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,162	5,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	9	—
有形固定資産の取得による支出	△2,633	△5,405
有形固定資産の売却による収入	4	93
投資有価証券の取得による支出	△20	△17
貸付けによる支出	△3	△84
貸付金の回収による収入	14	15
その他	△44	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,674	△5,419

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△6,177	587
長期借入れによる収入	100	1,000
長期借入金の返済による支出	△4,755	△3,760
社債の発行による収入	4,848	476
社債の償還による支出	△805	△1,239
株式の発行による収入	959	—
自己株式の売却による収入	162	0
セール・アンド・リースバックによる収入	—	3,316
リース債務の返済による支出	△821	△1,312
配当金の支払額	△157	△272
非支配株主への配当金の支払額	△29	△33
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,676	△1,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,186	△909
現金及び現金同等物の期首残高	6,720	3,534
現金及び現金同等物の期末残高	3,534	2,624

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ガラスびん・ハウスウェア・紙容器・プラスチック容器・産業器材の製造・販売、並びにこれに関連した事業活動を展開しております。

したがって、当社は、これらの事業活動から「ガラスびん関連事業」・「ハウスウェア関連事業」・「紙容器関連事業」・「プラスチック容器関連事業」・「産業器材関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「ガラスびん関連事業」は、ガラス製容器等を製造・販売しております。「ハウスウェア関連事業」は、ガラス製及び陶磁器製食器等を製造・販売しております。「紙容器関連事業」は、紙容器及び紙容器に係る充填機械を製造・販売しております。「プラスチック容器関連事業」は、PETボトル用プリフォーム等を製造・販売しております。「産業器材関連事業」は、主に加熱調理用器具のトッププレート等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	ガラス びん 関 連	ハウス ウェア 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	17,698	13,818	7,046	26,918	1,708	67,189	3,997	71,186	—	71,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	24	—	471	—	496	5,815	6,311	△6,311	—
計	17,698	13,842	7,046	27,390	1,708	67,685	9,812	77,498	△6,311	71,186
セグメント利益又は 損失(△)	△33	275	91	1,646	207	2,187	168	2,356	△0	2,355
セグメント資産	21,263	13,680	5,371	23,555	2,296	66,167	8,389	74,556	6,650	81,207
その他の項目										
減価償却費	1,443	700	276	1,690	55	4,164	61	4,226	—	4,226
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	755	466	8	3,243	86	4,560	33	4,593	—	4,593

当連結会計年度(自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	その他 (注1)	合計	調整額 (注3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 関 連	業 材 連 関					
売上高											
外部顧客への売上高	16,659	13,147	7,403	30,993	1,979	70,183	3,561	73,745	—	73,745	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	24	—	445	—	469	6,043	6,513	△6,513	—	
計	16,659	13,171	7,403	31,438	1,979	70,653	9,604	80,258	△6,513	73,745	
セグメント利益又は 損失(△)	△317	30	222	2,249	326	2,511	△11	2,499	△2	2,497	
セグメント資産	20,930	13,302	5,266	22,403	2,460	64,363	8,449	72,813	10,001	82,815	
その他の項目											
減価償却費	1,453	688	227	1,942	88	4,400	61	4,462	—	4,462	
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	5,251	390	230	2,382	133	8,388	116	8,505	—	8,505	

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. 前連結会計年度におけるセグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、たな卸資産の調整額△0百万円、その他0百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額6,650百万円には、管理部門に帰属する全社資産等7,538百万円、債権・債務消去△878百万円、たな卸資産の調整額△15百万円、その他5百万円が含まれております。
3. 当連結会計年度におけるセグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円には、たな卸資産の調整額△1百万円、その他△1百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額10,001百万円には、管理部門に帰属する全社資産等10,853百万円、債権・債務消去△841百万円、たな卸資産の調整額△16百万円、その他5百万円が含まれております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
5. 前連結会計年度において決算期の変更を行った一部の連結子会社につきましては、前連結会計年度において10か月間の損益を連結しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
1株当たり純資産額	5,888円48銭	5,946円55銭
1株当たり当期純利益金額	419円83銭	281円89銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)	当連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,488	1,180
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	1,488	1,180
期中平均株式数(千株)	3,545	4,186

(重要な後発事象)

該当事項はありません。